

『どこまで実現、私の思い?』

障害のある人をめぐる環境や各種施策は、時代とともに大きく変遷して来ました。43年前、「国際障害者年」(1981年)のテーマは『完全参加と平等』でした。同時に「ノーマライゼーション」の潮流は様々な形で社会に展開されました。「社会福祉基礎構造改革」(2000年)は介護保険制度の始まる時に、戦後作られた社会福祉制度を大きく改めました。この時、民法改正として明治期に作られた「成年後見制度」も変わりました。「自立支援法」(2006年)は「措置から契約」を実現しましたが、応益負担をめぐっては訴訟も起こされました。以後の協議を経て「総合支援法」(2013年)が施行、3年毎の協議を経ながら今日を迎えています。また、「障害者権利条約」(2006年)が国連で成立し、この国も批准(2014年)しました。それに間に合うように「障害者虐待防止法」(2011年)や「障害者差別解消法」(2013年)が成立、施行されています。そして、2022年には国連の障害者権利委員会から、この国の政府に対して統括所見が示されました。

時代は、障害のある人の人権擁護を主眼とし、その実現を目指しているように映ります。今回、各々の立場で障害のある人との関わりを生業とする皆様から、日々の実践を通してのご意見を拝聴します。

R6年11月12日(火)

13:30~16:30(開場 13:10)

場所:船橋市中央公民館 6階講堂
要申し込み 先着 100名 参加無料

第1部 講演

テーマ 「障がいのある人への施策の変遷」
~時代はどのように動いてきたのか~

発題 NPO 法人船橋福祉相談協議会
理事長 宮代 隆治 氏

第2部 シンポジウム

テーマ 『どこまで実現、私の思い?』

シンポジスト

- NPO 法人 PAC ガーディアンズ: 所長 野口 友子 氏
- 船橋障害者相談支援事業所連絡協議会(FAS-net):
副会長 佐賀 麻実子 氏
- グループホーム等支援ワーカー習志野圏域: 森井 真理 氏
- 船橋市放課後等デイサービス事業所協議会:
会長 荒木 直也 氏
- 障害当事者/NPO 法人船橋障害者自立生活センター:
職員兼相談支援専門員 小松 直勝 氏
- 基幹相談支援センター「ふらっと船橋」:
副所長 須崎 郁生 氏

主催 : 特定非営利活動法人 船橋福祉相談協議会
共催 : 船橋市障害福祉施設連絡協議会・船橋障害者相談支援事業所連絡協議会
後援 : 船橋市・船橋市社会福祉協議会・船橋障がい者地域福祉連絡会・
船橋市障害福祉団体連絡協議会・船橋市放課後等デイサービス事業所協議会・
船橋市グループホーム連絡協議会
問合せ : ふらっと船橋 <担当: 清水・正木>
住所 : 〒273-0021 船橋市海神 1-31-31 ジュネス海神 101
TEL : 047-495-6777 FAX : 047-495-6776
MAIL : flat-funabashi@key.ocn.ne.jp HP : http://flat-funabashi.com